

# (財)食品産業センター 環境委員会NEWS

No.12

平成22年5月12日発行

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/index.html>

(財)食品産業センター環境委員会

事務局 砂田・下田

TEL:03-3224-2384

FAX:03-3224-2398

=====

賛助会員各位

日頃より(財)食品産業センター 環境委員会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

5月11日(火)、中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会 プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会、及び産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルWGプラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会 合同会合(第14回)が開催されましたのでお知らせいたします。

配付資料の中、これまで4回行われた作業チームでの議論の整理が、「資料6」と「資料7」として事務局により仮まとめされています。

食品産業センターからは、資料6と資料7のとりまとめに関して、

1. 資料7の2. で、食品企業の「環境配慮設計」としては、主としてリデュースを積極的に推進してきており、リサイクルでの「環境配慮設計」に多くを期待されても困る。
2. 資料7の3. の項目が大きな反対がない措置として括られているのは疑問である。
  - 製品プラの混合収集は、対象範囲、費用等の議論がなされていない。
  - 容器包装への表示の改善は、何をどうするのが不明瞭で、その内容によって議論が変わる。限られた容器包装のスペースの拡大につながるようなことは困難。
3. 資料6の4. で、材料リサイクル優先の議論で望ましい姿としての「一定の条件のもとで」とされているが、条件が実現されるまでには相当の時間がかかるので時間の概念を入れて欲しい。たとえば、その実現に10年かかるような条件ならば現実的ではない。

との発言をいたしました。

配付資料の詳細は下記URLをご確認下さい。

※第14回合同会合配付資料

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/goudoukagou14/goudoukaigou14.html>

参考ヒアリング資料は経済産業省の下記URLにてご確認下さい。

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/data/g100316aj.html>

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/data/g100330dj.html>

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/data/g100412cj.html>

<議第>

- (1) 作業チームの整理を受けた議論
- (2) その他

<配付資料>

- 資料1 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会、産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルWGプラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会合同会合 名簿
- 資料2 これまでの検討状況と今後のスケジュール (案)
- 資料3 各主体からのヒアリング整理 (案)
- 資料4 ヒアリング結果を踏まえた今後の作業のための整理メモ (案)
- 資料5 市町村を対象とした容器包装リサイクル法のプラスチックのリサイクルについてのアンケート調査結果について
- 資料6 今後の作業 (案)
- 資料7 容器包装リサイクル手法の評価に係るシナリオ設定に向けた整理
- 参考資料 作業チームにおけるヒアリング資料 (添付なし)

※環境委員ニュースは、メール又はFAXで配信しています。  
添付資料等により送付部数が多くなり場合がございます。  
そのため、出来るだけメール配信でお願いしたく考えます。  
現在、FAXで配信させていただいている方で、メール配信にご変更いただける方は、事務局までご連絡をお願いします。

\*\*\*\*\*

(財) 食品産業センター 技術環境部

環境委員会 事務局 砂田、下田

TEL:03-3224-2384 / FAX:03-3224-2398

Mail : [c-sunada@shokusan.or.jp](mailto:c-sunada@shokusan.or.jp)

\*\*\*\*\*